

ウォーターフロント住宅における居住環境意識の経年変化に関する研究

—東京・南千住の集合住宅を対象とした調査—

A Study on secular change of consciousness of living environment in waterfront apartments

—A survey of apartments in Tokyo-Minami-Senju—

○藤田 優美¹, 桜井 慎一², 寺口 敬秀², 関口 潤耶³*Yumi Fujita¹, Shin-ichi Sakurai², Takahide Terakuchi² Junya Sekiguchi³

In Japan, housing development of the waterfront began to increase since the beginning of the 2000s. Over 15 years ago, apartments in the waterside have increased, the surrounding environment has also changed. Therefore, this study aims to clarify the secular change of the consciousness of residential environment accompanying redevelopment of the area. Based on the survey in 2002, we conducted a survey in apartment houses in the same area.

1. 研究背景および目的

我が国でウォーターフロント住宅開発が増加し始めた 2000 年代初頭より 15 年以上経過した現在、水辺の集合住宅が増え、周辺環境も変化してきた。

そこで、本研究では 2002 年の調査¹⁾をもとに、同じ地域の集合住宅で調査を行い、地域の再開発にともなう居住環境意識の経年変化を明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

調査概要を表一 1 に示す。隅田川に面する東京都荒川区南千住の集合住宅の住民を対象とし、ポスト投函方式によるアンケート調査を行った。

3. 結果および考察

調査結果を表二、表三に示す。

(1) 居住年数

今回の調査における回答者の居住年数の平均年数は 15.3 年であった。また、前回の調査年より前からこの地域に居住している割合は、47%となっていた。調査対象の集合住宅は築年数が 26 年であり、竣工当時から住み続けている戸数は 6 戸であった。

(2) 水辺を訪れる頻度と目的

「質問 1. 隅田川までどのくらいの頻度でいくか」では、「1-1. 週に 3 回以上水辺を訪れる」と回答した人が 2002 年の調査では 14%であったが、今回の調査では 27%と増加しており、水辺を訪れる頻度が上がっていることが判明した。

「質問 2. 隅田川まで行く理由と目的」では、前回は 52%が「2-2. 散歩・散策」と回答したが、今回の調査では 68%と増えていた。これは、2002 年にアン

表一 1. 調査概要

	2002 年	2018 年
調査方法	直接面接ヒアリング方式によるアンケート調査	ポスト投函方式によるアンケート調査
調査期間	2002 年 9 月 20 日～9 月 22 日	2018 年 8 月 17 日～8 月 31 日
調査対象地	東京都荒川区南千住の隅田川沿いの集合住宅	
調査対象者	集合住宅の住民	
有効回答数	50 件	51 件

表二 2. 居住年数別回答者数

1～3 年目	12% (6 人)	16～18 年目	6% (3 人)
4～6 年目	14% (7 人)	19～21 年目	6% (3 人)
7～9 年目	10% (5 人)	22～24 年目	8% (4 人)
10～12 年目	6% (3 人)	25～26 年目	27% (14 人)
13～15 年目	6% (3 人)		

ケート調査を行った当時は、集合住宅前の都立汐入公園が整備されていなかったが、2006 年に公園が整備され、散歩や散策がしやすい環境が整ったため、水辺まで訪れる人が増加したのではないかと考えられる。また、2002 年は「2-9. 子供の遊び」と回答している人はいなかったが、今回の調査では 14%と増加したことから、散歩や散策だけではなく、地域の人々の遊び場としての利用も増加していることが明らかとなった。

(3) 川のおい

「質問 3. お住まいの住戸の中で海や川のおいを感じたことがあるか」では、居住空間の中で「3-1 a. においを感じたことがある」と回答した人は、前回の調査では 42%みられたものの、今回の調査では 22%と減少していた。また、居住年数が比較的浅い 1～3 年の住民は「3-1 a. においを感じたことがある」と回答した住民が 50%であったが、24～26 年と長く住み続けている住民の 87%が「3-1 b. においを感じたことがない」と回答した。なお、においの評価においては、2002 年の調査時は 88%と最も多い回答であった「3-2 c. 良くない」という意見が、今回のアンケート調査では 36%と減少していた。このことから、川のおい

1 : 日大理工・学部・海建 2 : 日大理工・教員・海建 3 : 日大理工・院(前)・海建

いが改善された、もしくは居住年数の経過によりにおいに慣れた住民が増加したのではないかと考えられる。

(4) 川の音

「質問4. お住まいの住戸の中で海や川に関する音を聞いたことがあるか」では、2002年の調査では28%が「4-1a. 聞いたことがある」と回答したが、今回の調査では33%となり、結果にほとんど差はみられなかった。しかし、音の評価に関しては、前回の調査時に「4-3a. 良い」と回答した人が21%であったのに対し、今回の調査では47%と増加していた。川の音に対する評価も、においの評価と同様に肯定的に捉える意見が増加していることがうかがえる。一方、今回の調査では2002年の調査時にはなかった水上バイクの音がうるさいという意見も挙げられた。

(5) 入居当初からの変化

「質問5. 水辺に住んだことで変化した点があるか」では、「5-1. ストレスが減った」が16%、「5-2. 自然に対する意識が高くなった」が20%、「5-3. 健康意識が高まった」が24%であり、水辺という自然に近い環境に居住することで住民の居住環境意識の変化が起きていることがわかる。

(6) 快適性

「質問6. 海や川の近くに住んでいて快適な(満足している)こと」では、「6-1. 見晴らしが良い」と回答した人が、前回の調査時には24%であったが、今回は57%と増加し、最も多い結果となった。また、前回の調査では12%のみが「6-6. 開放感がある」と回答したが、今回の調査では51%と増加していた。

「質問7. 海や川の近くに住んでいて不快(不満)なこと」では、2002年の調査時には「7-9. 特にない」と回答した人が30%と最も多い結果であったが、今回の調査では「7-3. 自然災害が怖い」という回答が27%と最も多く、近年各地で頻発している川の氾濫を危惧していることがうかがえる。

「質問8. 総合的にみて、海や川の近くに住んでいて快適だと思うか」では、16年前は「8-3. 不快」と回答した人が38%であったことに対して今回の調査では、不快と感じる人が皆無であり、WF居住を非常に肯定的に評価していることがわかる。

【参考文献】

1)桜井慎一・加野太一・近藤一哉：「海と河川の特性の差異に考慮した住宅地計画に関する研究(その1)(その2)」, 日本建築学会大会 学術講演梗概集 A-2(海洋),2003年9月 pp.349~352

表-3. アンケート調査結果

	2002年	2018年
質問1. 隅田川までどのくらいの頻度でいくか		
1-1. 週に3回以上	14%	27%
1-2. 週に1~2回	28%	18%
1-3. 月に1回程度	0%	18%
1-4. 3か月に1回程度	0%	6%
1-5. 半年に1回程度	0%	4%
1-6. ほとんど行かない	58%	22%
1-7. 全く行かない	0%	6%
質問2. 質問1で1~5を選択した場合、隅田川まで行く理由と目的		
2-1. 気分転換	33%	27%
2-2. 散歩・散策	52%	68%
2-3. ランニング	5%	8%
2-4. サイクリング	0%	11%
2-5. 水辺に設置されている健康器具の利用	0%	3%
2-6. 運動・スポーツ	0%	3%
2-7. 釣り	0%	3%
2-8. イベント参加	0%	3%
2-9. 子供の遊び	0%	14%
2-10. 生物観察	0%	3%
2-11. 特に目的はない	0%	5%
2-12. その他	10%	19%
質問3. お住まいの住戸の中で海や川のにおいを感じたことがあるか、ある場合の評価		
3-1a. においを感じたことがある	42%	22%
3-1b. においを感じたことがない	84%	75%
3-1c. 無回答	0%	2%
【においの評価】		
3-2a. 良い	0%	27%
3-2b. どちらともいえない	12%	45%
3-2c. 良くない	88%	36%
質問4. お住まいの住戸の中で海や川に関する音を聞いたことがあるか、ある場合の音の種類と評価		
4-1a. 聞いたことがある	28%	33%
4-1b. 聞いたことがない	72%	67%
【音の種類】		
4-2a. 水の音		12%
4-2b. 船の音		94%
4-2c. 水鳥の鳴き声		24%
4-2d. その他		24%
【音の評価】		
4-3a. 良い	21%	47%
4-3b. どちらともいえない	71%	35%
4-3c. 良くない	7%	0%
4-3d. 無回答	0%	18%
質問5. 水辺に住んだことで変化した点があるか		
5-1. ストレスが減った		16%
5-2. 自然に対する意識が高くなった		20%
5-3. 健康意識が高まった		24%
5-4. 特にない		51%
5-5. その他		6%
5-6. 無回答		4%
質問6. 海や川の近くに住んでいて快適な(満足している)こと		
6-1. 見晴らしが良い	24%	57%
6-2. 風が心地よい	36%	39%
6-3. 近隣が静か	0%	12%
6-4. 涼しいと感じる	0%	29%
6-5. 日当たりが良い	0%	35%
6-6. 開放感がある	12%	51%
6-7. 水辺を歩ける	0%	25%
6-8. 子供が遊ぶ場所がある	0%	25%
6-9. 運動する場所がある	0%	24%
6-10. 自然が豊か	4%	6%
6-11. 子供の自然学習ができる	0%	6%
6-12. 特にない	20%	16%
6-13. その他	0%	6%
6-14. 無回答	0%	2%
質問7. 海や川の近くに住んでいて不快(不満)なこと		
7-1. 風が強い	8%	16%
7-2. 害虫が多い	0%	2%
7-3. 自然災害が怖い	0%	27%
7-4. 治安が悪い	8%	2%
7-5. 悪臭がする	0%	4%
7-6. 湿気が多い	0%	8%
7-7. 潮風が気になる	0%	2%
7-8. 海または川が汚い	26%	16%
7-9. 特にない	30%	20%
7-10. 無回答	0%	16%
質問8. 総合的にみて、海や川の近くに住んでいて快適だと思うか		
8-1. 快適	62%	71%
8-2. どちらともいえない	0%	25%
8-3. 不快	38%	0%
8-4. 無回答	0%	6%
質問9. もし今後転居する場合、どんな場所に住みたいか、また、その理由		
9-1. 海辺に住みたい	54%	14%
9-2. 川辺に住みたい	16%	20%
9-3. 水辺からはなれた所	10%	4%
9-4. 特に住みたいと思う場所はない	0%	41%
9-5. その他	20%	20%
9-6. 無回答	0%	4%